

H29 年度 冬期講習会 第 2 学年アンケート集計

【平成 29 年度一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業】進路学習指導部

[事業内容]

大学受験に対応できる学力の定着を目指し、本校教諭とのティームティーチングによる授業講座を、長期休業中に実施。

[担当講師]

英語 千頭和 純一 先生

数学 化学 松田 哲士 先生

現代文 高木 一哉 先生

古文 五十嵐 康夫 先生

<英語> 受講人数 43人

内容	よく理解できた		ふつう		よく理解できなかった
評価	①	②	③	④	⑤
人数	30	8	5	0	0

感想

- ・関係代名詞・疑問詞の文章における前に持っていく方法を学びました。
- ・文章の中で関係詞か従属接続詞を判断する方法を学びました。
- ・授業の中で、多くの情報を整理して、視野を広く見ながらインプットすることの重要性を改めて認識しました。また、授業というのは授業者と聞き手がお互いに準備することで最大の効果を生むのだと仰っており、さらなる準備が必要であることが分かりました。
- ・疑問詞への文章の書き換えがまだ、不十分であることを授業の演習を通して痛感しました。中学の英語を徹底して復習しなければならないと思いました。

<数学> 受講人数 38人

内容	よく理解できた		ふつう		よく理解できなかった
評価	①	②	③	④	⑤
人数	23	7	4	2	2

感想

- ・三角関数について授業をしていただき、3つのstepを踏むことで解法にたどり着くことを教えていただきました。まず、2乗くずしの公式を用いる。次に因数分解を行う。最後に次数を下げる。というステップを、演習を通して、身につけていきたいと思います。
- ・三角関数における解法を丁寧に教えていただきました。3つ段階を通して解答を導くのだと理解しました。さらに他の教材で類題を見つけ演習したいと思います。

・

＜現代文＞ 受講人数 38人

内容	よく理解できた		ふつう		よく理解できなかった
評価	①	②	③	④	⑤
人数	23	12	0	3	0

感想

- ・対比は比べる基準をそろえる。
- ・例示・引用・比喩は記述に使ってはいけない。
- ・設問の内容に合わせた解答の導き方と読解の方法を学ぶことができました。
- ・読解の方法を学び、筆者の主張や繰り返しの表現に着目しながら文章を読み進めることを学びました。また、問題の解き方において文字数制限で何を書けば良いかを学びました。

＜古文＞ 受講人数 32人

内容	よく理解できた		ふつう		よく理解できなかった
評価	①	②	③	④	⑤
人数	19	10	2	1	

感想

- ・尊敬語について学ぶことが出来ました。尊敬語は主体を敬う、謙譲語は客体を敬う、丁寧語は地の文は読み手を、会話文は書き手を敬う

＜化学＞ 受講人数 14人

内容	よく理解できた		ふつう		よく理解できなかった
評価	①	②	③	④	⑤
人数	10	4	0	0	0

感想

- ・気体の反応についての授業で、バランスシートを用いて求め、解くことを習得したので、さらに自分で演習を重ねていきたいです。
- ・気体は常に P 圧力, V 体積, T 絶対温度を追って求めるということを教えていただきました。
- ・気体について P, V, T とどれか一つでも値が変われば、丁寧にバランスシートを作成し確認することが解法であると学びました。また、気体の状態方程式で一定値を確認することも教えていただきました。